

【FN-6 外部評価まとめ 記入例】

目的	草案段階の診療ガイドラインの作成方法・記載項目の妥当性を確認すること。
方法	<p>項目・版： 草案</p> <p>期間： 2013年12月15日～2014年1月14日</p> <p>評価者： 診療ガイドラインの専門家、臨床の専門家の6名から構成される外部評価委員会（代表：○○△△）。外部評価委員会のメンバーは、統括委員会が選定した。</p> <p>ツール： AGREE IIを用いた。</p> <p>その他： 外部評価委員会のコメントの後に1ヵ月の修正期間を見込んだ。</p>
経過	<p>作成組織の立ち上げ時に外部評価委員会を設置。</p> <p>2013年11月30日に草案完成。</p> <p>2013年12月15日～2014年1月14日までの間に外部評価委員会に外部評価を依頼。外部評価委員会はAGREE IIを用いて個別に評価を行い、2014年1月6日に評価会議を実施し、評価結果を共有し、再度個別の評価を行った。再度行った評価の結果を1月10日までに評価委員会代表に提出し、結果を集約した。</p> <p>2014年1月31日に診療ガイドライン作成グループは会議を行い、外部評価の結果を吟味した。</p> <p>2014年2月1日～2014年3月1日まで、診療ガイドライン作成グループは、外部評価の結果を踏まえた修正を行った。2014年3月5日、診療ガイドライン作成グループは会議を行い、外部評価の結果への返答について検討した。</p>
結果	<p>全体としておおむね良好であるとの評価結果を得た。</p> <p>次の点について改善が提案された。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「作成の厳密さ」について、エビデンス総体を評価した枠組みの提示が不十分である。 ②「提示の明確さ」について、個々の推奨の関連が分かりにくい。 ③「適用可能性」について、コストに関する検討・記載が不十分である。 ④「編集の独立性」について、個人のCOIに対する記載がない。 <p>以上の提案を受けて、次のように修正した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①→エビデンス総体を評価した際の評価シートを提示した。 ②→臨床重要課題に対応する推奨のフローチャートを提示した。 ③→推奨ごとにコストに関して検討を行い、記載できる内容は追記した。 ④→個人のCOIについては、学会の利益相反委員会で管理していること、そして、委員会の判断結果について追記した。